

RI会長
バリー・ラシン

インスピレーションになろう

ま
る
が
め

週報

2018.7.19
Vol.56
No3
(2714)
 会員数 60名 出席者46名・欠席者13名・免除会員2名
 欠 席 者 秋山恒・天野・麻田・後藤・和泉享・加内・岸上・松山
 中野昌・野口・曾川・武中・竹内・会員

前々回出席率 87.72%(7/5)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

 会 長 川原 一夫
 幹 事 福田 洋子
 会報委員長 岡田 将一朗

お知らせ

7月のプログラム

 5 (No.1)-新旧会長引継式
 12 (No.2)-新委員長挨拶
 19 (No.3)-クラブフォーラム
 26 (No.4)-納涼例会

他RC例会変更

 丸亀東 7/10→7/9 歓迎会
 善通寺 7/11→7/7 歓迎会
 坂出東 7/25 親睦夜間例会

ニコニコBOX;

 よいことがありました
 秋山憲夫君
 中津万象園イベントご紹介
 眞鍋君
 おじいちゃんになりました
 細谷君
 100%出席できました
 小山君

<ニコニコ会計累積/ ¥56,623>

がんばるBOX;

 クラブフォーラムを終えて
 林君
 100%出席を達成できて
 四宮君 山内孝君
 切手貼りご協力ありがとうございました
 福田君

<がんばる会計累積/ ¥50,000>

■会長挨拶



(丸亀城石垣のヒミツ)

熊本地震で石垣が崩れるなどの壊滅的な被害が出た熊本城の修復が少しずつすすんでいます。熊本城を1本足状態の石垣で支えていた状態から、櫓(やぐら)の下に鉄骨「鉄の腕」を差し入れて固定し倒壊を防いでいます。郷土を思う厚き思いが、不可能と思える工事を可能にし、復興への第1歩を踏み出しています。熊本城南大手門倒壊防止対策工事を請け負っているのは、大林組であり、所長の土山さんは、熊本出身です。熊本城復旧には、20年かかり予定ですが、天守閣は3年で復元するようですが、費用は全体で600億円かかるそうです。

全国の文化財の指定をうけた城のすべてが、何らかの損傷を受けています。丸亀城も先日の豪雨により被害を受けています。崩れたのは、南西部の帯曲輪石垣で、高さ7m幅30mにわたっています。帯曲輪は、三の丸の押さえになっているので、まず三の丸の石垣を改修し、その後、帯曲輪の改修となります。城の北部分の石垣については、固い岩盤の上にかぶと岩(安山岩)の石垣で出来ており、南部分の石垣は花崗岩で出来ているため、風化し真砂土になるので、土砂災害がおきやすいとのこと。

丸亀城は、石垣の美しい曲線美で、石の城と形容される城です。石積みについて、基本的なことは、土圧に対する抵抗値と排水が大切です。土圧については、盛土の場合、定着するまで10年かかります。つまり10年すれば、安定し崩れることのない状態ということです。排水については、城の石垣は、外側に大きい石があり、そのすぐ内側に栗石という小石を配置し排水しています。栗石を配置し、わずかな変形を吸収する柔構造の形をとっているため安全です。しかしながら、激しく大きい振動が起きた場合、栗石の液状化現象が起きてしまい、沈下し、石垣が反った状態から浮腫んだ状態になり、崩壊へとつながります。崩壊を防ぐために、石垣の内部に、シートを埋め込む現代工法が検討されていますが、文化財保護の観点から好ましくないという意見もあります。立場が代われば、意見が変わりますが大局的な見地から考えていただき、早急な対策を講じていただきたいと思います。

(城の石垣については、建法第3条:文化財適用除外規定を運用する)

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

■幹事報告

- 1、クラブ計画書に載せる名簿の入会日と在籍数の確認をお願いします
- 2、7月26日は懐風亭にて、納涼及び新入会員歓迎会です

■例会事業;クラブフォーラム;出席委員会 林委員長

まず始めに前年度100%出席者への記念品授与を川原会長にお願い致します。

100%出席者、秋山憲夫会員、藤井紀子会員、細谷会員、和泉清憲会員、川原会長、小山会員、増田会員、森高会員、山田会員、夏見前会長、大西和彦会員、大山会員、四宮会員、陶國会員、山田会員、山内光会員、山内孝茂会員、吉田会員、以上です。記念品は傘です。



あらためまして出席委員長の挨拶を致します。ローターについて学ぶ機会をいただきました川原委員長に感謝申し上げます。

まずインターネットでロータークラブ百科事典を見て、クラブフォーラムを検索しました。クラブフォーラムとはクラブ討論会のこと。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の4大奉仕の中から問題を取り上げ、その実施、推進について全会員が討論して進路を見出そうとする会合である。会員の公式会合と説明されています。全会員の討論となっていますので皆様方よりのご指摘やご意見もお願いし、双方向でフォーラムを進めたいと思います。

次に検索したのが出席委員会。この委員会は、すべてのクラブ会員があらゆるロータリーの会合に出席すること—これには、地区大会、都市連合会、地域大会及び国際大会への出席も含まれる—を奨励する方法を考案するものとする。この委員会は特に本クラブの例会への出席と、本クラブの例会に出席できない場合の他クラブ例会への出席とを奨励し、全会員に出席規定を周知せしめ、出席を良くするためのよりよき奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる諸事項を確かめてこれを除去することに努めるものとする説明されています。今年度は川原会長より他クラブへの訪問を行って、他クラブの出席奨励方法の良い点を参考にすることも指示いただいていますので、皆さんの中でメイクアップされる方と共に他クラブ訪問を計画したいと思います。3項目目に全会員に「出席規定を周知せしめ」の文言がありますが、この件につきましては、皆さま方に規定の再確認をお願い致します。出席をよくするための奨励策については100%出席会員への記念品贈呈を引き続き行って出席奨励策とします。当クラブには100%50年達成の田中会員の歴史的記録もございますので、100%出席の達成を目指してください。出席不良の原因の除去については皆様方の自己責任で宜しくお願い致します。出席率についてですが、今年度の会員数は60名なので、出席者が59名であれば59/60の98.3%になります。従って1名の出欠が1.7%の出席率増減に影響する事になります。また年間の例会がほぼ46回となっていますので1回の出欠が個人の出席率の2.17%増減に影響します。

最後に例会についての検索を行いました。例会への出席する事が大きな意味があり、例会出席がロータークラブへの大きな入り口の扉だと思えます。

本日はご清聴ありがとうございました。